

2015年東海地区中学・高校ディベート選手権

—第23回東海地区中学・高校ディベート大会—

<第20回ディベート甲子園 東海地区予選>

大会要項

- 主催** 全国教室ディベート連盟東海支部 読売新聞社
- 後援** (申請中) 愛知県・岐阜県・三重県・静岡県・名古屋市 各教育委員会
公益財団法人中部科学技術センター
- 協賛** パナソニック 日本テレビ放送網
- 協力** 金城学院大学

目的

ディベートの普及を通して、議論の文化を育むこと。

出場選手には本大会において、議論の技術を学び、公平・公正な議論を尊ぶ心を養うことを期待する。

開催日時・会場

日時：2015年7月18日(土)・19日(日) 両日とも9:00~18:00

会場：金城学院大学 N1棟(名古屋市守山区)
名鉄瀬戸線「大森・金城学院前」駅下車

論題

中学：「日本は刑事事件における実名報道を禁止すべきである。是か非か」

- * ここでいう実名報道とは、個人を特定して、その人が加害者または被害者であることを推測させる情報を、仕事として不特定多数に提供することとする。
- * 違反者には刑事罰を科すものとする。
- * 公務員または公務員であったものが在任中に関わった事件の本人に関する情報は禁止の対象から除く。
- * 本人または警察が実名報道を要請した場合を除く。

高校：「日本は裁判員制度を廃止すべきである。是か非か」

- * 裁判員法が定める規定をすべて廃止し、職業裁判官のみによる裁判制度に戻すものとする。

参加資格・出場校数

1) 参加資格(不明な点は事務局まで問い合わせること)

- 中学の部 愛知・岐阜・三重・静岡各県の中学校(あるいは中学校に対応する中等教育学校、特別支援学校の学年)に在籍する生徒
- 高校の部 愛知・岐阜・三重・静岡各県の高等学校(あるいは高等学校に対応する高等専門学校、中等教育学校、特別支援学校の学年)に在籍する生徒 ※高等学校等への在籍が3年目までとする。

2) 出場校数 中学の部24校・高校の部24校までとする。



大会ルール

全国中学・高校ディベート選手権ルール（2015年2月21日改正）による。

参照 <http://nade.jp/koshien/rule/index>（ルール） <http://nade.jp/koshien/rule/guideline>（ガイドライン）

http://nade.jp/files/uploads/rule_amendment2015_rev2.pdf（2015ルール改正に関する解説）

必ず熟読し、確認の上参加すること。

申込方法

全国教室ディベート連盟東海支部ホームページ（<http://tokai.nade.jp/>）上で受け付ける。

※大会申込フォームに必要事項を記入の上、申し込むこと。

受付期間は、5月10日（日）から7月10日（金）までとする。

参加校が応募多数の場合

中学・高校それぞれの参加申し込み数が上記の数を超えた場合、申し込みの先着順に、出場校を決定する。

地区大会参加料

1チーム5,000円（大会当日徴収、領収書発行）

表彰・認証

優勝・準優勝・第3位チームを表彰する。また中学、高校別にベストディベーターおよび奨励校を表彰する。

東海地区代表として、上位の中学5校、高校6校を認証する。

チームと引率教師

- 1) 原則として、チームは同一校に在学する生徒4～6名で構成する。
試合出場は4名であるが、試合毎に交代可とする。
チームは各試合の開始前に出場選手メンバー表を司会に提出すること。
- 2) やむをえず4名以上の出場ができない場合、2名または3名での大会登録を希望するチームは、大会登録時に事情を記入しなければならない。主催者が事情を認めた場合には、大会への出場が認められる。
2～3名のチームで出場する際の試合運営上の規定については、ルールの「細則A」を参照のこと。
- 3) 同一校からの参加は1チームとする。
- 4) 引率教師もしくは学校が認めた成人の引率者が1名つくこと。

その他

- 1) 組み合わせは事前に抽選によって決定する。発表は当日行う。
- 2) 全国大会は8月8日（土）から8月10日（月）まで、女子聖学院中学校高等学校（東京都北区）で開催される。全国大会への出場については、出場校に別途案内する。なお、全国大会参加登録料として、中学6,000円、高校8,000円を負担すること。

問い合わせ先

全国教室ディベート連盟東海支部事務局

toukai.nade@gmail.com

